

IGS理事会報告

GeoAfrica2013(ガーナ)と IGS 理事会報告

埼玉大学地圏科学研究センター 桑野 二郎

GeoAfrica2013 (IGS の第 2 回アフリカ地域会議) が 2013 年 11 月 18 日～20 日にガーナ・アクラにおいて開催されたが、その前の 2 日間、IGS の理事会が開催された。理事会は、学会の会場である Accra International Conference Centre で開かれた。今回の理事会にわが国から参加したのは、前会長の東京理科大学龍岡文夫教授、理事の熊本大学大谷順教授、桑野の 3 名であった。龍岡前会長は、理事会の前日に会長、前会長などの幹部による Officers Meeting にも出席された。

11 月 16 日の理事会初日は、まず Strategic Planning Review で、会員数や Web へのアクセスの増加など、IGS の戦略について話し合われた。2010 年から 2013 年の間に、正会員数が 2067 人→2877 人、学生会員が 46 人→202 人、特別会員が 131 社→163 社と順調に伸びていることが報告された。また支部についても、2011 年から 2012 年にかけて、パキスタン、イラン、カザフスタン、コロンビアに設立されたのに加え、2013 年にはベトナム、マレーシア、ホンジュラスが加わることが本理事会で承認された。IGS の今後のさらなる発展に向け、学会 Web、特に会員専用ページの充実などが話し合われた。また、新規支部の設立や既存支部への支援のため、Educate the educator プログラム (ジオシンセティックス普及のため、教育・広報する人を教育する) や Ambassador プログラム (IGS から教育・普及活動のため人を派遣する) などが話し合われた。その後、各委員会に分かれて会議が行われた。例えば桑野が委員長を務める Asian Activity Committee では、支部活性化のため 2013 年にインドネシアで開催されたショートコースに対して行われた支援に関する報告、ベトナム支部設立の経緯と支援に関する報告と議論、若い支部への支援や新規支部の発掘など 2014 年の活動計画、などが議論された。

12 月 12 日の理事会 2 日目には、各委員会の報告と予算要求があった。会計に関しては、IGS の場合、理事に実務者も多いためか、資産をより効率的に運用した方が良いのではないかといった意見があったのが興味深かった。また、IGS 世界・地域大会開催時の主催者と IGS 本部との会計上のルール見直しについて、担当の龍岡先生から報告があり、承認された。なお、理事は任期 4 年で、2 年ごとに半数が改選される。2014 年は正副会長選挙と共に実施されるため、候補者募集・投票などのスケジュールが確認された。

今回の理事会は、特に大きな問題も無く、全体的に穏やかなものであった。休憩時間の雑談で、龍岡前会長が理事(8 年)、副会長・会長・前会長(各 4 年)で合計 20 年間続けて理事会に出ているとお話しされたところ、理事の間から感嘆の声が上がった。国際的な舞台で尊敬され、日本の存在感を高めていただいていることを大いに感じ、感謝した次第である。

GeoAfrica2013 についても簡単に報告する。2009 年にケープタウンで開催された第 1 回に次ぐものである。地元ガーナの Ampadu 教授を中心にしっかりと運営がなされた。会議の運営には南アフリカのサポートも大きかったようである。セッション運営なども予想以上に時間が守られ、個別の発表もしっかりしていた。幅広い内容の論文が発表されていたが、アフリカの特殊土に関するもの、道路舗装に関するもの、に特色が感じられた。参加者は約 40 ヶ国から約 250 人、

展示は33と聞いている。展示は欧米系の企業が多かったが、インド、台湾、韓国からも展示があり、ここでの日本の存在感が薄いのは残念であった。

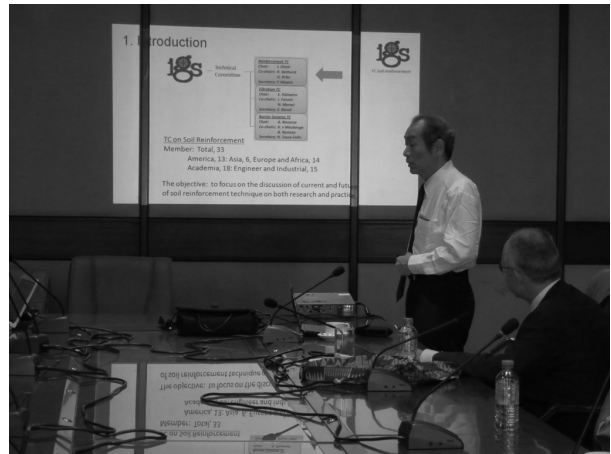
西アフリカを訪れるのは今回が初めてであった。黄熱病の予防注射が必要とされるなど、多少身構えての訪問であった。ホテルと会議場の往復しかできなかったが、車はきちんと車線・信号を守り、タクシーでも妙な要求をされることは無く、いわゆる途上国的な経験は全く無かった。ちなみにガーナ産の本物のガーナチョコレートをお土産に買ったが、少々硬めであったものの、なかなかの味わいであった。初めての西アフリカという事で、サハラ砂漠を飛行機からずっと眺めたが、まさしく砂漠で、緑の無い乾燥地帯が延々と続いていた。そんな中で、時々小さな集落があり、一本の道路がつながっているのを見て、道路はやはりライフラインであることを強く感じ、GeoAfrica2013でそういう発表が多かったのもうなずける気がした。



Accra International Conference Centre



休憩時間に盛土崩壊動画を楽しむ理事達



TC Reinforcement の説明をする大谷理事



会議場入口で民族音楽の出迎え



GeoAfrica2013 開会式での踊り